



NVH(騒音・振動評価)施設

半無響音室

- NVH車両特性評価用のシャシダイナモメータを有する半無響音室です

有効径	14,7m x 11m x 5,1m
遮断周波数	50 Hz
バックグラウンドノイズ(システムオフ)	22 dB(A)
両側排ガス換気装置保有	
温度調節: 24±1℃	

- シャシダイナモメータ(2つの独立したモータを配置)

最高速	250 km/h
ローラー径	72" (1828 mm)
公称動力値(現状最大)	320 kW (480 kW)
けん引力 (現状最大)	14.000 N (21.000 N)
騒音レベル	100 km/h 時48dB(A)
前輪駆動・後輪駆動の両方に対応可能	
ローラー表面の変更も可能	
衝撃転がり音試験実施の為にインパクトストリップ	
許容車両重量	2500 Kg
入り口高さ	3,57m

快適性能評価路面

- 路面インパクト入力 快適性能評価路面
路面入力騒音計測向け
- ランダム入力 快適性能評価路面
走行路面騒音計測向け

粗いアスファルト路面
パッチ補修されたアスファルト路面
舗装路面
起伏のあるベルジャン路

車外騒音計測トラック

- ISO 10844に準じたバス・バイ騒音及びコーストダウン向け試験トラック

- ISO 1路面:**ISO 10844:2011の条件を満たし、R51ー車外騒音及びR117ータイヤ騒音計測規制を見越した試験路面

吸音率:

ドライライン	5%(ISO 要求レベル:<8%)
伝播範囲	7%(ISO 要求レベル:<10%)

- ISO 2路面:**ISO 10844:1994(現在適用)の条件を満たしR51及びR117規制に則った試験が可能な路面

- B&K Plus機器によるバス・バイ騒音計測

静音室

- 騒音レベルサブシステム・フルボディ特性・モーダル解析の計測使用する静音室です

有効径	8m×6m×5m
橋脚型クレーンを有する	
計測機器類	加振機 4機 入力用ハンマー 2台

車両準備場所

ワークショップ	1,115 m ²
---------	----------------------

車両ノイズおよび振動関連の開発

イディアダ社は、NVH開発プロジェクトのマネジメントと問題解決について広範な能力を有する独立系の試験機関です。

評価およびシミュレーション用最先端機器、高度に訓練された組織（車両性能、ブレーキシステム、流体力学、車両合成及び疲労等の）、全ての自動車性能に関する分野のインテグレーション、および国際的なマネジメントネットワークにより、グローバル車種のNVH関連プロジェクトに対応することが可能です。

車両コンセプトおよび開発ターゲットの決定

- ベンチマーク測定プログラム
- プロジェクト・ターゲットの確率
 - ブーミング・ノイズ（車両静粛化）
 - 中／高周波エンジンノイズ
- ローリングノイズ／ハーシュネス
- エアロダイナミックノイズ
- スクイーク／ラトル
- 設計コンセプトの分析



開発および評価

- ホワイトボディ (BIW) 開発
 - ブラケット設計
 - 披露／耐久プログラム
- ボディ・トリミングの最適化
 - パネル／クロスビームのサイジング
 - サブフレーム設計
- シャシー（車体）開発
 - モーダルマネジメント
 - 静的／動的剛性
 - マウント設計
 - タイヤ評価
- 車両部品開発
 - コックピット／ステアリングコラムのコンセプト
 - シートの快適性
 - ギヤ・シフト機構
 - ミラー設計
 - 電動／油圧コンポーネント
- アコースティック分離（アイソレーション）性能
 - 残響室内でのパネル透過損失の特性評価
 - アセンブリ・プロセスの分析
- エンジンマウントおよびブラケット開発
 - サプライヤー評価
 - 車体骨格ノイズ／エンジン搭載振動／エンジン制御に対する搭載の最適化



検証

- NVH検証
- トラブルシューティングおよびチューニング
- 車両部品（コンポーネント）の検証（モーダル解析、スクイーク／ラトル、疲労試験）
- 外部騒音規制に対する最終調整

